

Level	テストプロセス成熟度 (GOAL)	KPA	テスト工程	KP	関連するTPI KeyArea Level
1	初期レベル プロジェクトは最も一般的であり、プロジェクトによってその成熟度に大きなバラツキがある。このバラツキは、成熟したプロセスと未熟なプロセスが混沌として存在し、組織として何の規則もなく存在している成熟度合いの不揃いの程度である。このレベルでは、テストはプロジェクトリーダーやテスト担当者などの個人の努力によって実施され、場当たりのテスト、バグ報告を行っている状態である。	-	-	-	-
2	反復できるレベル 組織としての基本的なテスト技法と方法論が制度化され、テストグループはテスト計画、テスト設計、テスト実施といったテストのライフサイクルを繰り返し実行できるレベルである。これらの基本プロセスはできてはいるが、依然プロジェクト間のバラツキが存在している状態である。	RM	割り当てられたテスト要件がテストグループに組み込まれる前の段階でレビューする。	AC1	3C
			割り当てられたテスト要件への変更をレビューしてテストグループに組み込む。	AC3	17B
		SPP	文書化され承認されたテスト作業内容記述書が存在する。	AB1	18A
			テスト計画策定の責任が割り当てられている。	AB2	18C
			テスト計画の策定は、プロジェクト計画全体の早期段階から、かつ並行して開始する。	AC2	3D
			テストグループは、他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。	AC3	11B
			テスト計画を文書化する。	AC7	2A
			テストの工数とコストの見積りは、文書化された手順に従って算出する。	AC10	4A
			テストのコスト、資源、スケジュール、および技術面に係わるリスクを識別、検証、文書化する。	AC13	1D
			テストにおける設備および支援ツールに関する計画を作成する。	AC14	1D
			テスト計画策定に関するデータを記録する。	AC15	1C
			テスト計画の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	VE2	14B
			ソフトウェア品質保証グループは、テスト計画の活動とテスト作業成果物をレビュー / 監査し、その結果を報告する。	VE3	18C
		SPTO	プロジェクトのテスト計画は、文書化された手順に従って改訂する。	AC2	1C,2B
			テスト工数とコストについての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	AC6	4B,18C
			テストにおける重要なコンピュータ資源の進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	AC7	4B,18C
			プロジェクトのソフトウェアスケジュールについての進捗を確認し、必要に応じてテスト計画の是正処置をとる。	AC8	4B,18C
			テストグループは、定期的に内部レビューを行い、技術面での進展、計画、実績、および課題をテスト計画に照らして、進捗を確認する。	AC12	15B,18C
			テスト進捗管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	VE2	15B,18C
			ソフトウェア品質保証グループは、テスト進捗管理の活動とテスト成果物をレビューかつ / または監査し、その結果を報告する。	VE3	18C
		SSM	発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。	AC12	3A,17B
		SQA	SQAグループは、テストグループに対し、定期的にその活動結果を報告する。	AC6	18C
			テスト活動やテスト作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱う。	AC7	15A,16B
		SCM	構成管理下におくべきテスト作業成果物（テスト計画書など）を特定する。	AC4	14B,16B
3	定義されたレベル 組織標準のテストプロセスが製品のソフトウェアライフサイクルに組み込まれている。テストプロセス・活動が組織的に制御・監視され、標準化が進んでいるためプロジェクト間のバラツキは少なくなっている状態である。また、テストで得られたデータはデータベースに記録されている。	OPF	上級管理層は、テストプロセスの開発と改善に対し、組織の活動を監督する。	CO3	11B,18C
			テストプロセスを定期的にアセスメントし、アセスメントの所見を取り上げるために処置計画を策定する。	AC1	18C,19B
			組織で限定的に使用される新しいテストプロセス、テスト手法、およびテストツールを、モニターし、評価し、そして適切であれば組織の他の部分に移転させる。	AC5	15D,18C
			組織やプロジェクトのテストプロセスの開発と改善に関する活動について、テストプロセスの実装に携わるグループに情報を伝える。	AC7	15D,18C
		OPD	「組織の標準テストプロセス」は、確立された組織標準に従って文書化する。	AC2	5B,17B
			テストグループにおいて使用することが承認されたテストライフサイクルの記述を文書化し維持する。	AC3	2B,17B
			「組織のテストプロセスデータベース」を確立し維持する。	AC5	17C
			「テストプロセス関連文書のライブラリ」を確立し維持する。	AC6	17B
			「組織の標準テストプロセス」ならびに関連するテストプロセス資産を開発し維持するために、適切な資源と資金が提供される。	AB1	9C,17B
		TP	組織のテストに関するトレーニングニーズの充足に責任を持つグループが存在する。	AB1	12A
			各テストグループは、そのテスト実施に必要なトレーニングニーズを明記するトレーニング計画を策定し保守する。	AC1	12B
			テストに関するトレーニング記録を維持する。	AC6	12B
		ISM	文書化された手順に従って「組織の標準テストプロセス」をテラリングすることにより、「プロジェクトの定義されたテストプロセス」を開発する。	AC1	17D
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に従って、テストグループを管理する。	AC4	18C
			「組織のテストプロセスデータベース」は、テストの計画と見積りに使用する。	AC5	17C
			テスト作業成果物の規模（またはテスト作業成果物の変更規模）は、文書化された手順に従って管理する。	AC6	17D

Level	テストプロセス成熟度 (GOAL)	KPA	テスト工程	KP	関連するTPI KeyArea Level
			テスト工数とコストは、文書化された手順に従って管理する。	AC7	17D
			プロジェクトのテストスケジュールの重要な依存関係とクリティカルパスは、文書化された手順に従って管理する。	AC9	18B
			プロジェクトは、「組織の標準テストプロセス」および関連するプロセス資産を用いてテストを計画し管理することに関して、そのことを要求する明文化された組織方針に従う。	CO1	18B
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」を用いたテスト管理のために、適切な資源と資金が提供される。	AB1	18B
			テスト管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	VE2	18B
			ソフトウェア品質保証グループは、テスト管理の活動とテスト作業成果物をレビューかつ／または監査し、その結果を報告する。	VE3	18C
		SPE	適切なテストエンジニアリングの手法とツールを、「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に統合する。	AC1	1B
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に従って割り当てられた要件を分析することにより、テスト要件を開発し、保守し、文書化し、そして検証する。	AC2	5B,17B
			テスト要件に適用し、テストに対する枠組みを形成するため、「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に従って、テスト設計を開発し、保守し、文書化し、そして検証する。	AC3	5B,17B
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に従って、ソフトウェアテストを実施する。	AC5	1D
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に従って、ソフトウェアの統合テストを計画し実施する。	AC6	1D
		IC	ソフトウェアのシステムテストと検収テストを計画し実施して、ソフトウェアが要件を満足していることを実証する。	AC7	1D
			テストグループとその他のエンジニアリンググループは、顧客やエンドユーザなどと適宜連携し、テスト要件を確立する。	AC1	14C
			テストグループ間の重要な依存関係は、文書化された手順に従って特定し、協議し、そして進捗を確認する。	AC4	14C
			プロジェクトのテストグループの代表者は、定期的に技術レビューと意見交換会を開催する。	AC7	14C
		PR	テストに関するピアレビューの開催と結果に関するデータを記録する。	AC3	14B
4	管理されたレベル 組織全体でテストプロセスが実装され、プロセスのデータが定量的に首尾一貫して収集されている。テスト品質管理はテスト品質計画に基づき実施され、定量的にデータベースから分析把握され制御されている。 プロジェクト間のバラツキは限りなく平均値に近づき平準化されている状態である。またこのレベルでは平均値の予測が可能である。	QPM	組織の定量的テストプロセス管理活動の調整に責任を持つグループが存在する。	AB1	18C
			定量的テストプロセス管理に対するテスト計画は、文書化された手順に従って策定する。	AC1	2B,17B
			「プロジェクトの定義されたテストプロセス」を定量的に制御するために用いられる計測データは、文書化された手順に従って収集する。	AC4	7B
			「組織の標準テストプロセス」に対するテストプロセス能力ベースラインは、文書化された手順に従って確立され維持される。	AC7	5B,17B
		SQM	プロジェクトのテスト品質計画は、文書化された手順に従って策定し保守する。	AC1	2B
			プロジェクトのテスト品質計画が、テストグループのテスト品質管理活動の基礎である。	AC2	1D
			テストライフサイクルを通じて、テスト作業成果物に対するテストグループの定量的品質目標を、定義し、モニターし、そして改訂する。	AC3	2B
			テスト品質管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	VE2	18C
			ソフトウェア品質保証グループは、テスト品質管理の活動とテスト作業成果物をレビューかつ／または監査し、その結果を報告する。	VE3	18C
5	最適化するレベル テストプロセスは定期的にうまく運用され、組織が継続的なテストプロセス改善に集中できる。また、組織はテストプロセスからのデータを分析することにより欠陥を未然に防ぐ術を持っており、ここで得られた情報(テストプロセスの変更や新技術)は他のプロジェクトへフィードバックされる。 このようにテストプロセスを最適化していることから、プロジェクト間のバラツキはなく、その平均値を決めることができ、値の上げ下げが制御できる状態である。	DP	テストグループは、テストの欠陥予防活動のための計画を策定し保守する。	AC1	16C
			文書化された手順に従ってテストの欠陥原因分析会議を開催する。	AC3	16C
		TCM	テスト技術変更の評価と選択の分析を支援するために、テストプロセスとテスト作業成果物に関する適切なデータが利用可能である。	AB4	13A
			組織のテスト技術変更管理に責任を持つグループは、「組織の標準テストプロセス」を系統的に分析し、新技術を必要としたり、それにより利益を得る可能性がある領域を特定する。	AC4	13C
			文書化された手順に従って、「組織の標準テストプロセス」に適切な新テスト技術を組み込む。	AC7	13C
			文書化された手順に従って、「プロジェクトの定義されたテストプロセス」に適切な新テスト技術を組み込む。	AC8	13C
		PCM	テストプロセス改善プログラムを確立して、組織のメンバに組織のプロセスを改善する権限を与える。	AC1	18C
			テストプロセス改善活動は、テストプロセス改善計画に従って実施する。	AC4	18B
			組織のメンバは、割り当てられたテストプロセスエリアでテストプロセス改善策を作成するため、積極的にチームに参加する。	AC6	14C
			テストプロセス改善活動の記録を維持する。	AC9	15B,18C
			テストのマネージャや技術要員は、イベント発生を契機として、テストプロセス改善活動の状況と結果のフィードバックを受ける。	AC10	15D,18C